

所管事務調査の一環として2月5日から6日まで、静岡県熱海市及び静岡県浜松市にて行政視察を実施しました。

〈参加者〉 委員長 高畑 裕
 委員 植村 美洋 委員 石名 国光
 委員 高橋 光雄

静岡県熱海市

乗合タクシー共創モデル実証プロジェクト

少子高齢化による人口減少で、路線バスの減便、撤退、免許返納や運転士不足の影響により、交通弱者や交通空白地帯が発生している現状を踏まえ、タクシーよりも低コストで、バスよりも融通性がある「まめっこ号」の実証実験が行われており、熱海市の交通空白地帯のニーズと問題点を把握し、運転手不足の解消や採算化可能な運賃事業構造など、解決すべき課題を明らかにしたうえで、課題解決のための実証を行っており、最終的には、電車、バス、タクシー、まめっこ号などの移動手段をITで結び、交通空白地帯でも利便性の高い移動が可能となるモビリティミックスの実現を目指しておりました。



静岡県浜松市

大河ドラマを活かした観光誘客

静岡県はこれまでも徳川家康に関する事業を行っており、特に「どうする家康」に関しては、「おんな城主 直虎」での経験を生かし、大河ドラマが決定した時点で、のぼり旗を4800本作成したことから始まり、「家康公ゆかりの地」というロゴマーク、キャッチコピーの作成、官民連携による、誘客宣伝、食、街なか、交通輸送の4つの分科会を展開し、大河ドラマ館事業へ取り組んでいた、とのことでした。

今後、白河市は松平定信公の城下町として注目され、多くの観光客が訪れることが予想されることから、観光誘客に関しての取組は非常に参考になりました。

所管事務調査の一環として、1月29日から31日まで、愛知県碧南市及び兵庫県小野市にて行政視察を実施しました。

〈参加者〉 委員長 吉見優一郎 副委員長 佐川 琴次
 委員 柴原 隆夫 委員 菅原 修一
 委員 佐川 京子 委員 深谷 弘

愛知県碧南市

認知症伴奏型支援事業

認知症伴奏型支援事業は国の補助事業であり、認知症に関する相談の窓口業務を民間の介護サービス事業所に委託するものです。民間事業所における人材や施設などの既存資源を効率的に活用し、専門知識を持った職員が認知症の初期段階から相談や助言を日常的かつ継続的に行う支援拠点を整備することで、本人はもちろんその家族への支援体制の充実を図っています。全国的な課題である高齢化社会への対策にいち早く取り組んでおり、本市でも課題解決に向けて取り入れていくべきものとして大いに参考になりました。



兵庫県小野市

小中一貫教育

市内小中学校をすべて小中一貫校とし小中の連携を強化するとともに、愛と希望の教育として教育に脳科学を応用するものです。脳科学を基にした先進的な教育方法に20年前から取り組み、小野市独自の「おの検定」や地域ごとに小学生と中学生の交流事業の継続的な開催、小中一貫したカリキュラムの作成、「16カ年教育」として子供が産まれる前からパパママサロン教室を開催し、子育て支援教育の充実を図るなど、今後ますます深刻化する少子化に向け様々な取り組みを行っており、その一つ一つが先進的かつ実用的なもので、新たな教育の方向性を考えることができました。

